

Licom Systems

インストールマニュアル

Alphacam 2016R2



更新日: 2017/02/24

目次

目次	1
必要システム構成	2
要求仕様	2
オペレーティングシステム(OS)	2
注意点	2
概要	3
インストールの流れ	3
Alphacam のインストール	4
前準備	4
Alphacam キータイプ	4
インストールの開始	4
自動再生メニュー	4
言語の選択	6
インストールウィザード	6
Alphacam の起動	8
スタンドアロンライセンスのインストール	10
CLS ライセンスの取得・更新	10
スタンドアロンライセンスの取得・更新	10
ネットワークライセンスのインストール	16
CLS を使用してネットワークライセンスをインストール	16
ライセンスサーバーのセットアップ	16
ライセンスファイルのインストール	16
方法1 - ライセンスマネージャを使う	17
方法2 - WlmAdmin.exe を使う	17
クライアント PC のネットワークライセンス環境設定	19
クライアント PC の環境設定	19
重要事項	20
Part Modeler のインストール	22

必要システム構成

要求仕様

- ・ 32 または 64 ビット Intel Xeon, Intel Core, AMD Athlon 64, AMD Opteron, AMD Phenom 以上, シングル, デュアル, クワッドコアバージョン
- ・ 32 ビットオペレーティングシステムには 2GB, 64 ビットオペレーティングシステムには 4GB メモリーを必要とします. バックグラウンド処理やマルチスレッド対応のため, 64 ビットオペレーティングシステムおよび各プロセッサにつき最低 2GB メモリーを推奨します.
- ・ 10GB 以上のハードディスク空き容量
- ・ nVidia Quadro シリーズまたは AMD (ATI) FirePro シリーズ 128MB ワークステーショングラフィックカード (256MB 以上を推奨)と 32 ビットカラー. グラフィックカードに不具合が生じた場合は, ドライバの製造元にお問い合わせください. WHQL 認証ドライバを推奨します.
- ・ 17 インチカラーモニター (1280x1024 解像度)
- ・ 2 ボタン Windows 互換マウス(ホイール付 2 ボタンマウス推奨)
- ・ スペースマウス/スペースボール(オプション)
- ・ ソフトウェアインストール用 DVD ドライブ
- ・ ネットワークカード(ネットワークライセンスに対応するために TCP/IP が必要)
- ・ Internet Explorer7 以上
- ・ ライセンスアクティベーションおよび更新のためのインターネット接続環境
- ・ Alphacam セキュリティキーのための USB ポート(キーレスライセンス以外の場合)

オペレーティングシステム(OS)

- ・ Microsoft Windows 7 Professional , Ultimate , Enterprise
- ・ Microsoft Windows 8 Professional , Enterprise
- ・ Microsoft Windows 10 Professional , Enterprise

注意点

- ・ 対象 OS の最新サービスパックをインストールすることを推奨します.
- ・ Alphacam は 32 ビット版/64 ビット版を選択してインストールできます. 64 ビット OS に 32 ビット版 Alphacam をインストールすることは使用可能なメモリーの上限が発生するため推奨できません.
- ・ Alphacam とパートモデラーは Windows7 の Home にインストールは可能ですが, Home に限定された内容での不具合対応は保証できませんので, 推奨しません.
- ・ Windows 7 Starter Edition に対応していません
- ・ Windows RT に対応していません.
- ・ Sentinel RMS ライセンスサーバーはシステムサービスとして, Windows XP, Vista, Server 2003, Server2008 及び Windows7 に対応しています.
- ・ SafeNet Computer ID USB キーを使用している場合, Sentinel RMS ネットワークライセンスを仮想サーバーにインストールできます. スタンドアロン(単体)は仮想サーバーにご利用いただけません.

※ Windows は, 米国 Microsoft Corporation およびその他の国における登録商標です

概要

このドキュメントは、ステップに沿った手順と Alphacam ソフトウェアおよび CLS ソフトウェアライセンスをインストールに関する情報を記載しています。

インストールの流れ

STEP 1

ソフトウェアのインストール

AlphaCAM 2016R2 をコンピュータにインストールします。

STEP 2

ライセンスのインストール

ご契約頂いたライセンスタイプ(スタンドアロン又はネットワーク)によってライセンスのインストール方法が異なります。

ライセンスタイプをご確認の上、インストールを実行してください。

- スタンドアロンライセンスにてご契約の場合 → P10～ を参照
- ネットワークライセンスにてご契約の場合 → P15～ を参照

STEP 3

クライアント PC のネットワークライセンス環境設定

ネットワークライセンスを使用する場合のみ、クライアント PC の環境設定が必要です。
スタンドアロンライセンスを使用する場合、この操作は不要です。

STEP 4

Part Modeler のインストール

Part Modeler を購入された場合は、インストールをします。

Alphacam のインストール

前準備

Alphacam をインストールする前に、この手順書を一読してください。

インストール前に、使用中のアプリケーションを全て終了してください。

アンチウイルスソフトウェアが実行されているとインストールに失敗することがあります。

ログインユーザーが管理者権限を持っていないとインストールに失敗することがあります。

Alphacam キータイプ



旧スタンドアロン用



旧ネットワーク用



共用キー



USB キーを納入した場合、**不具合が生じる可能性があるため、インストールが完了して PC が再起動するまでは、絶対にセキュリティキーを USB ポートに装着しないでください。**

USB キーの納入がなく、旧バージョンの Alphacam からアップグレードする場合は、既存のキーをそのままご利用ください。**お手持ちの USB キーもインストールが完了して PC が再起動するまでは外しておいてください。**

i USB キーの納入がなく、“キーレス”スタンドアロンライセンスを使用する場合は、この項目は関係ありません。また、Alphacam ネットワークライセンス購入した場合、USB キーを納入していないことがあります。詳細は [ネットワークライセンスインストール](#) を参照してください。

i 既存の DESkey を引き続きご使用になる場合、DESkey ドライバは Alphacam と同時にインストールされません。ドライバインストールプログラムは、Alphacam インストール DVD 内または、Support\DesKey フォルダにて入手できます。また、これらのドライバは DESkey ホームページ(www.deskey.co.uk)のダウンロードエリアからも入手可能です。これらのドライバが必要な場合は、Alphacam インストール後に手動でインストールしてください。

インストールの開始

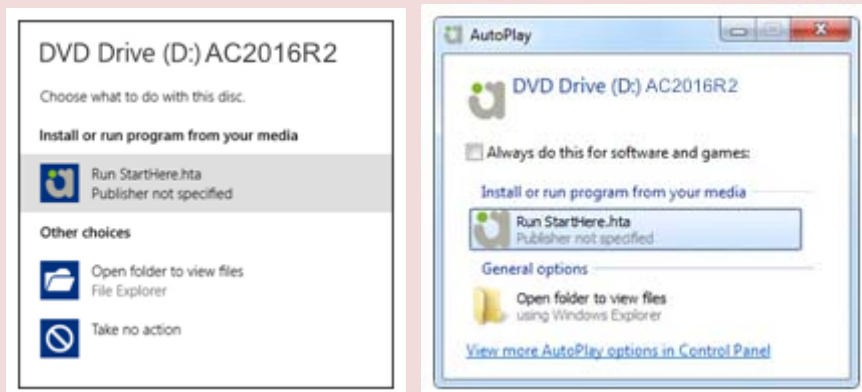
自動再生メニュー

Alphacam インストールディスクを PC のディスクドライブに挿入してください。ご使用中の PC が DVD の自動再生に対応している場合、数秒後に自動再生メニューが表示されます。



自動再生メニューが表示されない場合は、マイコンピュターを開き Alphacam ソフトウェアが挿入されているディスクドライブ内 **StartHere.hta** をダブルクリックしてください。メニューが起動されます。

または、以下のダイアログにて自動再生を確認された場合は、**Run StartHere.hta** をクリックしてください。



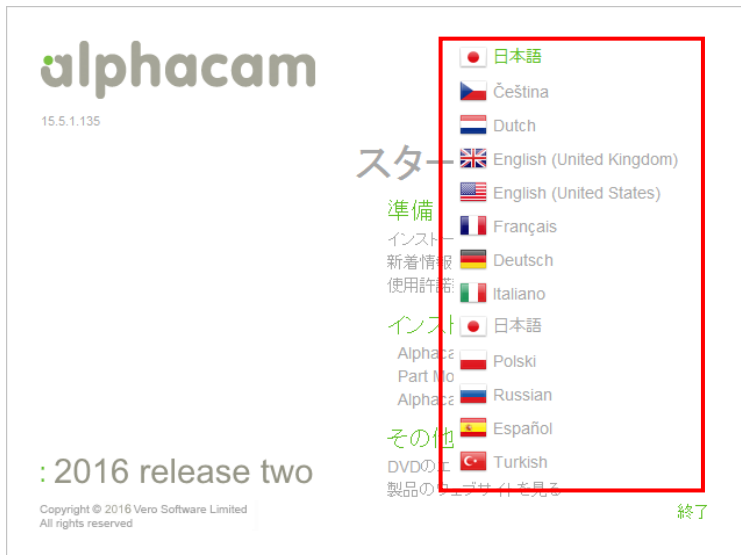
- **インストール手順** - このリンクをクリックすると、Alphacam インストール手順書を開きます。
- **新着情報** - このリンクをクリックすると、Alphacam 新機能のドキュメントを開きます。
- **Alphacam をインストール** - このリンクをクリックすると Alphacam インストールウィザードを開始します。
- **Part Modeler をインストール** - このリンクをクリックすると、Part Modeler インストールウィザードを開始します。
- **Alphacam Art をインストール** - このリンクをクリックすると、Alphacam Art インストールウィザードを開始します。
- **アドインを参照** - このリンクをクリックすると、Windows エクスプローラーにて Alphacam インストール DVD 内のエクストラアドインフォルダを開きます。このフォルダには AlpuacUT など様々な Alphacam 製品が入っています。
- **製品ウェブサイト** - ここをクリックすると、Alphacam ホームページのメインページに接続します。
- **使用許諾契約書** - Alphacam エンドユーザのライセンス許諾書(www.alphacam.com/eula)を確認できます。

※PartModeler および Alphacam Art はオプションです。ライセンスを購入されていない場合はご使用になれません。

: インストールガイド

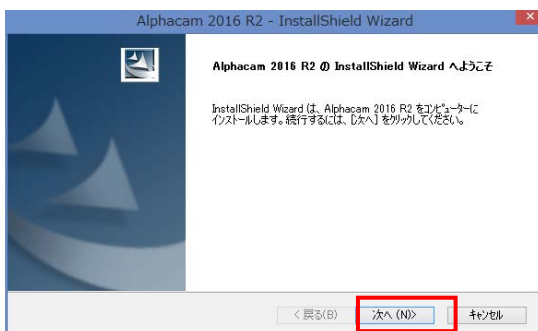
言語の選択

自動再生メニューに表示するメニュー及び Alphacam のインストール言語を、自動再生メニューの右上から選択してください。



インストールウィザード

Alphacam をインストールをクリックしてください。

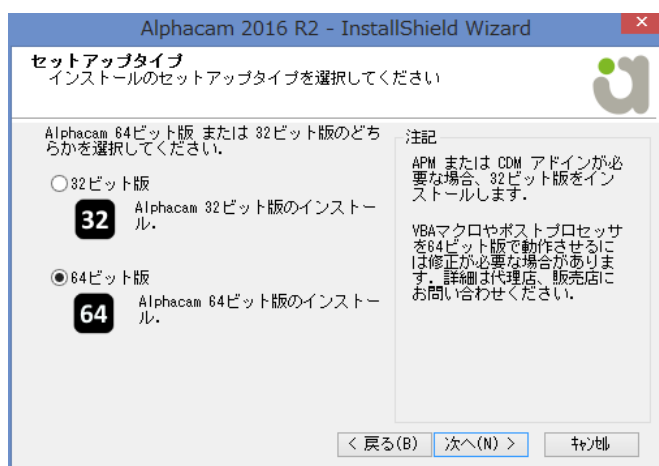


次へボタンをクリックし、ウィザードを進めます。

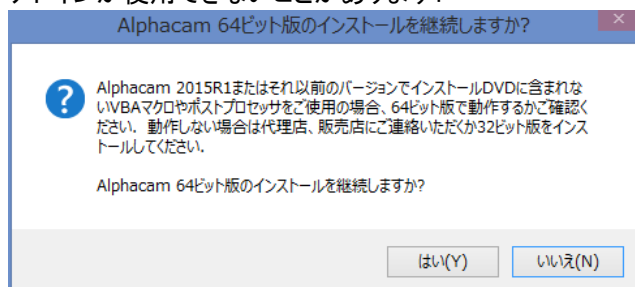


ライセンス契約に同意後、次へをクリックし、継続してください。

続いて 32 ビット版/64 ビット版の選択を行います。この画面は 32 ビット OS にインストールするときには表示されません。



64ビット版を選択すると、使用可能なメモリーや読み込める CAD ファイルの上限が飛躍的に向上します。ただし一部のアドインが使用できないことがあります。



インストール DVD に含まれる VBA マクロは 32/64 ビットの両方で動作するように修正されていますが、お客様専用で作成された VBA マクロは動作しないことがあります。ほとんどの場合 32/64 ビットの両方で動作するように改造することは可能ですので、開発元にお問い合わせください。

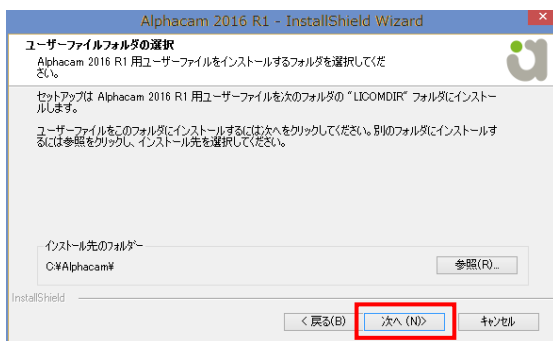
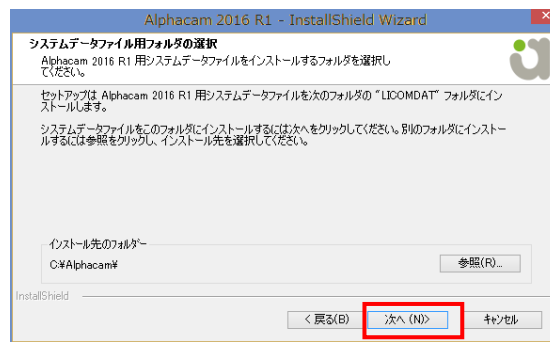
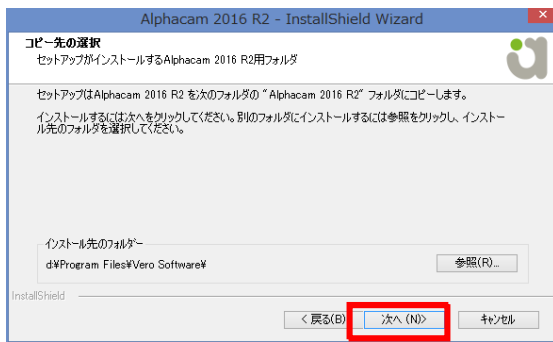
続いて、Alphacam インストール先を指定します。

初めて Alphacam をインストールする場合、32 ビット版のプログラムのコピー先は、**C:\Program Files (x86)\Vero Software\Alphacam 2016 R2** に設定されています。64 ビット版では **C:\Program Files\Vero Software\Alphacam 2016 R2** です。データやユーザファイルの初期設定先は **C:\Alphacam** です。LICOMDAT や LICOMDIR フォルダは指示したフォルダの下に自動的に作成されます。(例: **C:\Alphacam\LICOMDAT** や **C:\Alphacam\LICOMDIR**) 前バージョンの Alphacam がインストールされている場合は、既存の設定を参照します。

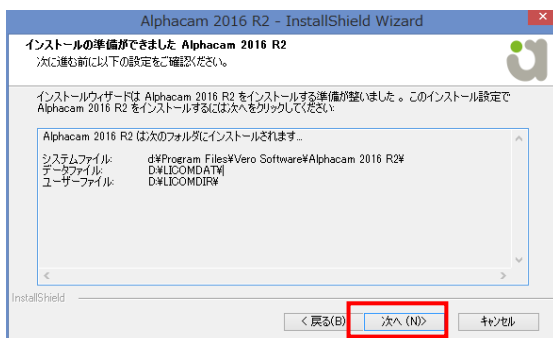
初期設定先は PC 上またはネットワーク上、どこにでも変更することができます。他の場所を設定する場合は、参照ボタンをクリックし、指定してください。次へをクリックし、選択されたパスを確認してください。



重要なデータの破損・損失を防止するために LICOMDAT と LICOMDIR フォルダは定期的にバックアップしてください。



インストール先を指定すると、確認画面が表示されるので、次へをクリックします。



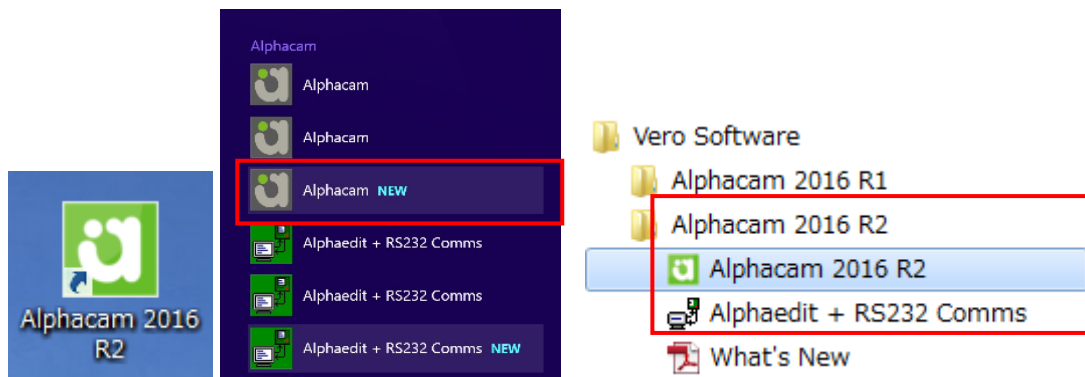
表示されたプログラムのパスが正しければ、次へをクリックしインストールを継続してください。

インストール完了後、再起動を促された場合は行ってください。



Alphacam の起動

インストールウィザード完了後(必要に応じて再起動後) Windows スタートメニューに *Alphacam - Alphacam 2016R2* フォルダが作成されます。そこから起動します。



i ライセンスの設定をする前に Alphacam を立ち上げると、警告メッセージが表示され、自動的に CLS ライセンスマネージャが起動します。

スタンドアロンライセンスのインストール

CLS ライセンスの取得・更新



スタンドアロン CLS ライセンスはインターネットにて取得できます。インターネットが利用できない場合は、手順 6 を参照してください。



ライセンスを取得するには、予め PC に Alphacam をインストールしてください。



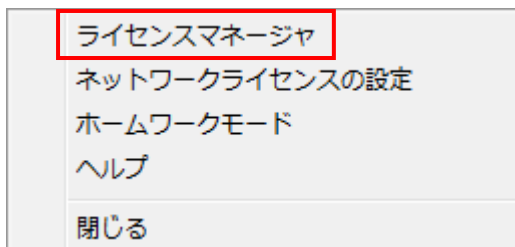
詳細は CLS ヘルプファイルを参照してください。

スタンドアロンライセンスの取得・更新

1. Alphacam USB キーを挿入してください。USB キーを購入していない場合は、2 に進んでください。
2. Client License Server(CLS)が起動しているか確認してください。起動している場合は、CLS アイコン(黄色のキー)がデスクトップ右下のシステムトレイ内に表示されます。



3. CLS アイコン上右クリックし、**ライセンスマネージャ**を選択してください。

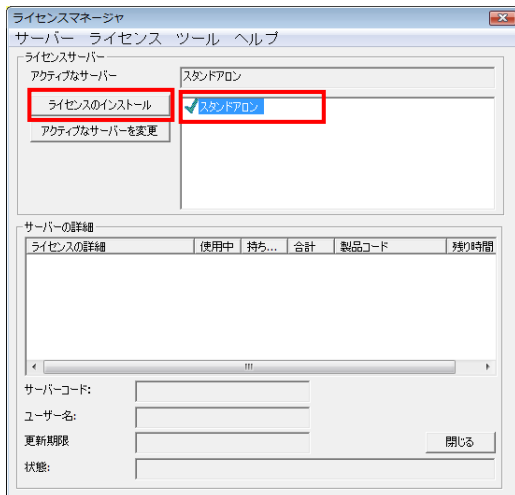


Part Modeler をインストール後に、**Alphacam** をインストールした場合、CLS メニューは以下の画像のように表示されることがあります。

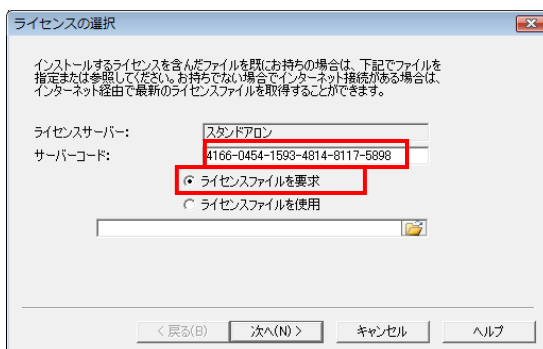
セキュリティキーの書き込み
ライセンスサーバー名の設定
ライセンスマネージャ
ネットワークライセンスの設定
ネットワークセキュリティキーを無視
ネットワークキーの選択
ホームワークモード
ヘルプ
閉じる

このような場合、Alphacam DVD の Support フォルダの.reg ファイルを実行することで修正できます。Windows の 32 ビットバージョンを起動している場合、**PartModeler_CLS_Fix_x86.reg** をダブルクリックし、はいをクリックしてください。Windows の 64 ビットバージョンを使用している場合、**PartModeler_CLS_Fix_x64.reg** をダブルクリックしてください。

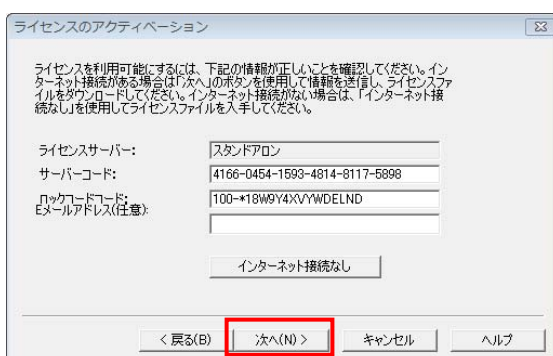
4. ライセンスマネージャ内のライセンスのインストールボタンをクリックしてください。



5. デリバリーノートに記載されたサーバコードを入力してください。ライセンスファイルを要求を選択し、次へをクリックしてください。



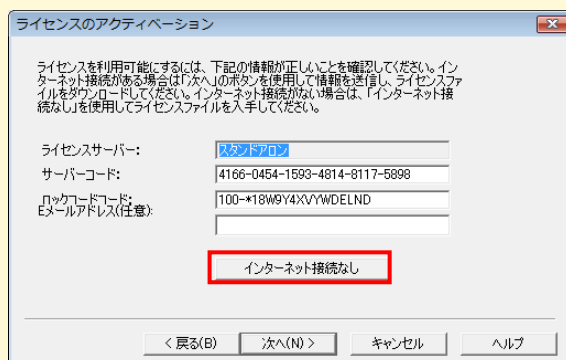
6. サーバコードを確認し、E メールアドレスを入力してください。(任意)次へをクリックしてください。



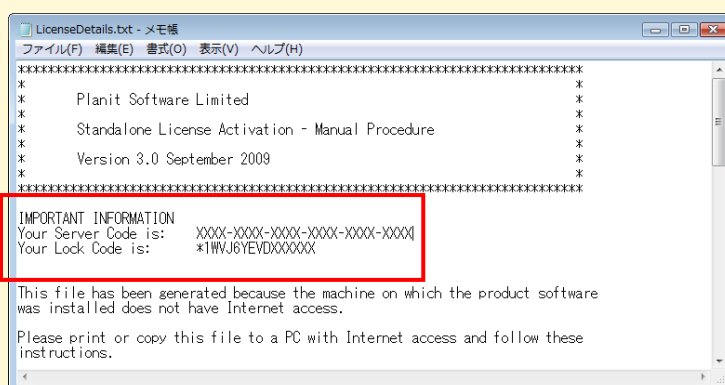
📌 インターネットが利用できない場合

基本的には、上記方法でスタンドアロンライセンスを有効にすることができます。ただし、インターネットに接続していることが条件になります。インターネットに接続していないPCをご使用の場合は、下記方法を実行してください。ライセンスファイルを手元に入っている場合は4から始めてください。

1. インターネット接続なし ボタンをクリックしてください。



2. メモ帳が立ち上がり、使用中のキー（ dongle ）のサーバーコード、ロックコードが表示されます。



ロックコードは 100 または 80 から始まる番号が表示されます。それ以外の場合は、キーが正しく挿入されていない可能性がありますので、今一度ご確認ください。

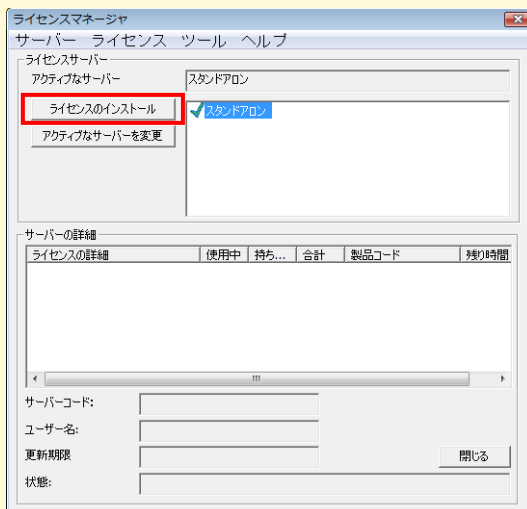
3. このテキストの内容（サーバーコード・ロックコード）をインターネット環境がある PC にて E メールして頂くか、インターネット環境がない場合はプリントアウトし FAX してください。

E-mail: support@licom.co.jp FAX: (076)439-0668

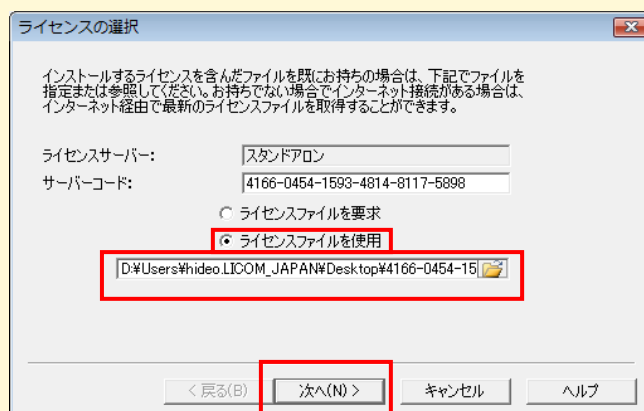
E メールして頂いた場合は、個別にライセンスファイルを E メールにて返信致します。
FAX して頂いた場合は、CD にて送付致します。
(送付までに3~4日かかります。ご了承ください。)

※ライセンスファイルがお手元に届きましたら、ファイルを任意の場所に保存してください。

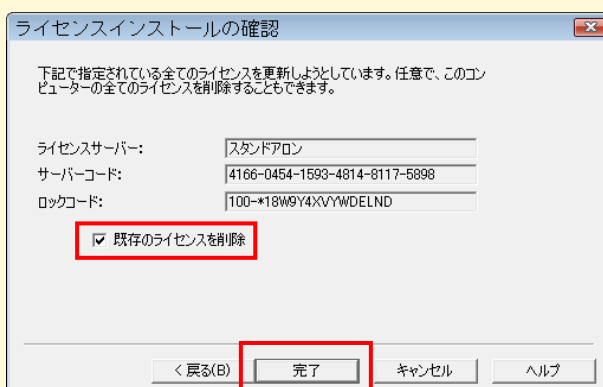
4. CLS アイコン上右クリックし、ライセンスマネージャを選択してください。
5. ライセンスマネージャ内のライセンスのインストールボタンをクリックしてください。



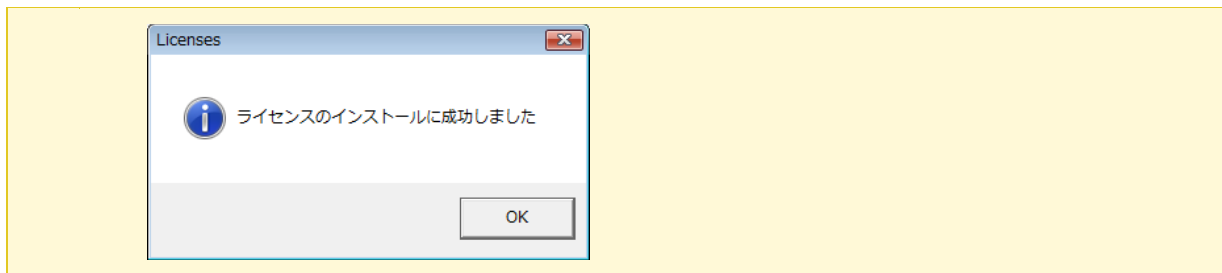
6. **ライセンスファイルを使用**を選択し、保存したライセンスファイルを選択し、次へをクリックしてください。



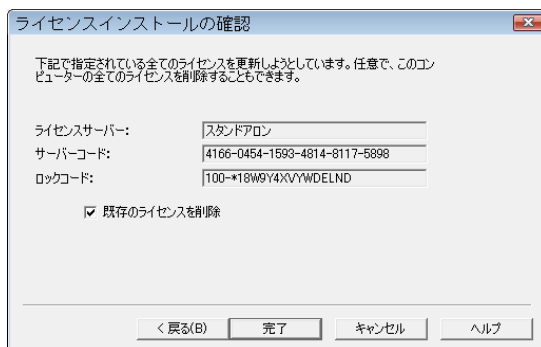
7. **既存のライセンスを削除**をONにし、完了をクリックし、ライセンスのリクエストを適用してください。



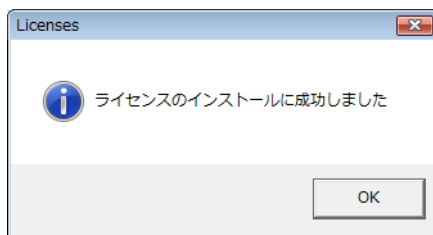
8. 成功すると、以下のメッセージが表示されます。



7. **既存のライセンスを削除** を ON にし、**完了** をクリックし、ライセンスのリクエストを適用してください。



8. 成功すると、以下のメッセージが表示されます。



9. システムトレイから黄色のキー (CLS 201) を右クリックし、**閉じる** をクリックしてください。

10. **はい** をクリックして、再起動してください。

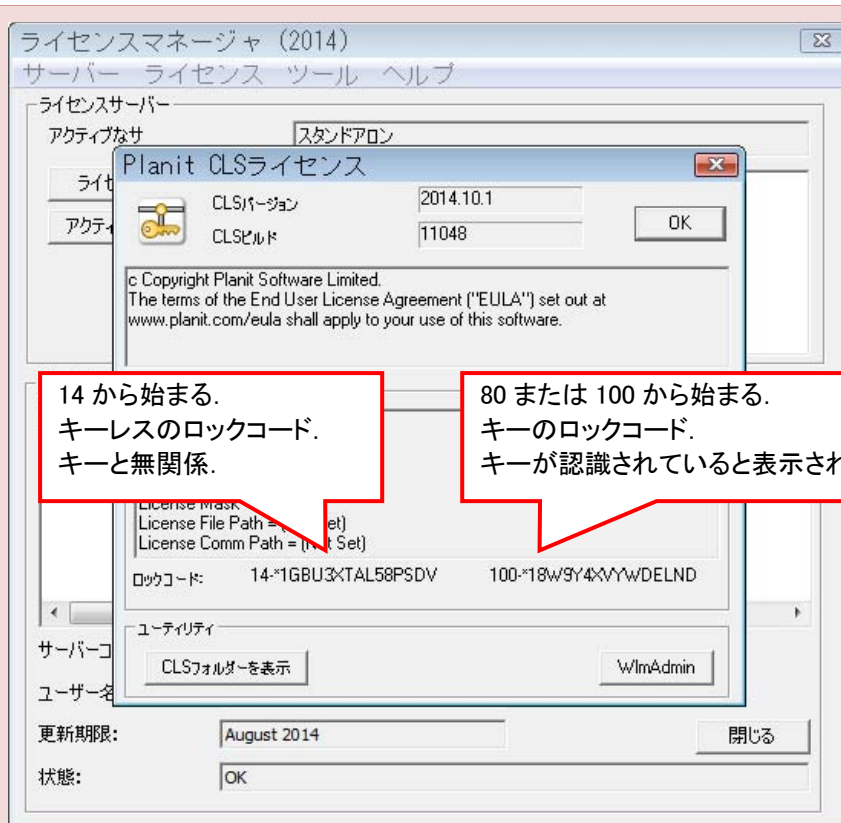


CLS ライセンスのインストールに失敗した場合

ライセンスインストール失敗の多くの原因はキーが認識されないことにあります。キーが認識されているか確認する方法を説明します。

ライセンスマネージャのヘルプメニューの **CLS ライセンスについて** をクリックします。

次の画面が表示されるので、80 または 100 から始まるロックコードが表示されているか確認します。



キーのロックコードが表示されない場合は、ドライバをインストールします。

プリンタポートのキー(水色) DVD:¥Support¥DESkey にあるセットアップを実行します。

HASP USB キー(紫で赤ランプ) DVD:¥Support¥HASP にあるセットアップを実行します。

Sentinel USB キー DVD:¥Sentinel_RMS_Licensing¥Driver for Computer ID Key にあるセットアップを実行します。

ネットワークライセンスのインストール

ネットワークライセンスを起動させるには、事前に Sentinel License Manager をネットワークサーバにインストールしておく必要があります。下記ステップに従い操作してください。

CLS を使用してネットワークライセンスをインストール



この手順書は初期のネットワークライセンスのセットアップに適用します。もし年間保守の更新、または追加モジュールを購入後であれば、インストールディスクの **Sentinel RMS Licensing** Quick Reference Guides フォルダ内の *network_UpdateLicenseFile.pdf* を参照してください。



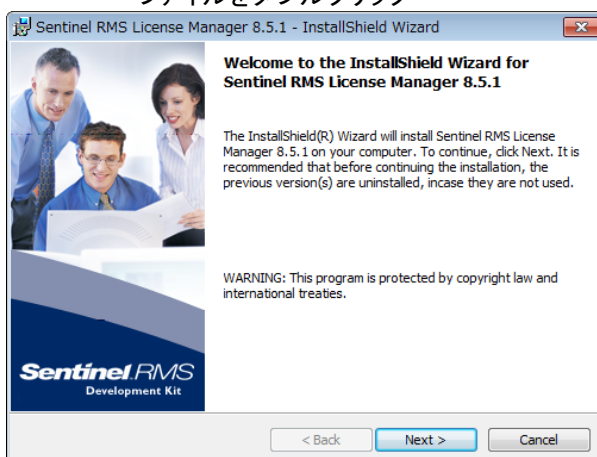
キーレスライセンスを使っている場合は Sentinel RMS ライセンスサーバーを実在するサーバーにインストールしてください(仮想サーバー不可)。Sentinel RMS ネットワークライセンスが SafeNet Computer ID USB キーを使用している場合のみ仮想サーバーにインストールできます。



キーありネットワークライセンスを使っている場合は、キーがサーバーに挿入されているか確認してください。

ライセンスサーバーのセットアップ

1. Alphacam インストールディスクを挿入し、Windows Explorer を使用してディスクドライブを参照してください。
2. Sentinel License Manager インストールウィザードを以下のどちらかの方法で開始してください。
方法 1) ディスクのルートフォルダ(例: D:\InstallLM.bat)にある **InstallLM.bat** ファイルをダブルクリック
方法 2) **Sentinel_RMS_Licensing** License_Manager_Installation フォルダ
(例 D:\Sentinel_RMS_Licensing\License_Manager_Installation)にある setup.exe
ファイルをダブルクリック



ウィザードが開始されますので、指示に従ってライセンスサーバーのインストールをおこなってください。

ライセンスファイルのインストール

サーバー上のライセンスファイルをインストールする方法は次の2通りあります。

- [方法1](#) – CLS ライセンスマネージャを使う。

- [方法2](#) – WlmAdmin.exe を使う

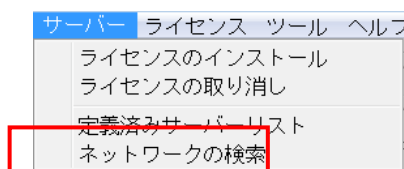
方法1 – ライセンスマネージャを使う

サーバーかクライアント PC (Administrator Model が有効な) にインストールされた CLS からライセンスをインストールできます。

1. CLS アイコンを右クリックし、**ライセンスマネージャ** を選択してください。



2. **サーバー** メニューの**ネットワーク検索** をクリックし、Sentinel RMS サーバーのリストを出してください。接続したいサーバーを選択し、**アクティブなサーバーを変更** をクリックしてください。希望のアクティブサーバーに変更されたかを確認し、ダイアログを閉じてください。



3. リスト上に表示されたサーバーから使用したいサーバーを選択し、**ライセンスのインストール** ボタンをクリックしてください。
4. 表示されたダイアログには、インターネット経由でライセンスファイルを要求するか、すでにダウンロードしたかメールで受け取ったファイルを使用する選択オプションがあります。

インターネット経由でライセンスファイルを要求するには

1. **サーバーコード** を入力 (タイプかコピーとペースト) し、**次へ** をクリックしてください。
2. **ライセンスファイルを要求** をクリックし、インターネット経由で Vero サーバーからライセンスファイルを要求します。
3. 確認ダイアログで、詳細が正しく表示されているかを確認し、**次へ** をクリックしてください。

納入したライセンスファイルをインストールするには


1. **サーバーコード** を入力 (タイプかコピーとペースト) し、**次へ** をクリックしてください。
2. **ライセンスファイルを使用** をクリックしてください。
3. ライセンスファイルを選択します (ライセンスファイルは <servercode>.one, と名前が付いています。例えば, 1234-4567-1234-4567-1234-4567.one)
4. **次へ** をクリックしてください。
5. 確認のダイアログで、**完了** をクリックしインストールを完了してください。

ライセンスはインストールされ、使用する準備ができました。

方法2 – WlmAdmin.exe を使う

ライセンスファイルをすでに入手されている場合は6から開始してください。

1. まず始めにサーバーにロックコードを生成してください。インストール DVD で以下のファイルを実行してください。: \Sentinel RMS Licensing\Generate Lock Code\GenerateLockCode.exe

2. ダイアログに表示されたロックコードをメモ等に取り保管してください。または、**保存**  をクリックし、ロックコードをファイルに保存することもできます。



GenerateLockCode.exe が失敗した場合は、同フォルダ内の **GenerateLockCodeHelp.txt** ファイルを読んでください。

3. オンラインでロックコードを送信して、ライセンスファイルを取得してください。
 1. **Delivery note** に記載してあるリンクに接続してください。
 2. すると自動的に **Servercode** (サーバーコード) **Customer ID** (顧客 ID) が表示されます。
 3. ロックコードと入力してください (タイプかペーストで)。
 4. 任意で E メールアドレスを追加入力してください。
 5. **Generate License** をクリックしてください。
 6. ステップ 4 に進んでください。
4. 既存ユーザ様で、お手元にロックコードを持っている場合は、直接 <http://customers.verosoftware.com/Public/Licensing/LicenceActivation.aspx> に接続して行うこともできます。

Lock Code を入力 (タイプかペースト) し、**Next** をクリックしてください。

もしロックコードが見つからない場合は、**Enter Additional Customer Information** をクリックしてください。**Customer ID** と **Servercode** (delivery note にあります) を入力してください。

Generate Licence をクリックしてください。

ライセンスを生成したら新しいページが表示されます。そこにライセンスファイルをダウンロードするリンクが含まれています。もしステップ 1 で E メールアドレスを入力した場合は、設定アドレスにライセンスファイルが添付されて送られます。

5. ライセンスファイルを保存してください。

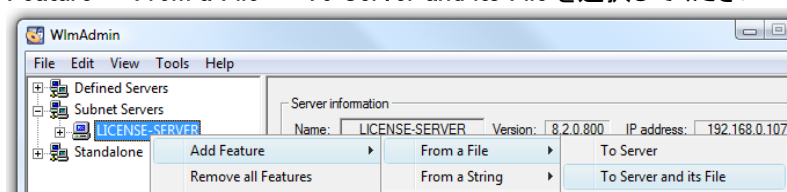


ライセンスファイルは、ロックコードを生成したサーバー上のみ有効です。

6. インストール DVD で以下のファイルを実行してください :
¥Sentinel RMS Licensing¥Administer and Monitor¥wlmadmin.exe

または、C:\Program Files\Common Files\Vero Software\2016.10\Utilities\Administer and Monitor\wlmadmin.exe を起動してください。

7. ダイアログが開いたら **Subnet Servers** の下からあなたのサーバーを選択してください。右クリックをし、**Add Features ▶ From a File ▶ To Server and its File** を選択してください。



注意: 製品ライセンスは Sentinel RMS™ のデータを参照しています。

8. 保存したライセンスファイル確認して、**OK** をクリックしてください。

各ライセンスの確認ダイアログが表示されるので **OK** をクリックしてください。

サーバーとライセンスのインストールが完了しました。これで、[クライアント PC の環境設定](#)の準備ができました。

クライアント PC のネットワークライセンス環境設定

ネットワークライセンスサーバーを設定後、(上項目[ネットワークライセンスインストール](#)参照)クライアント PC は以下の環境設定をしてください。



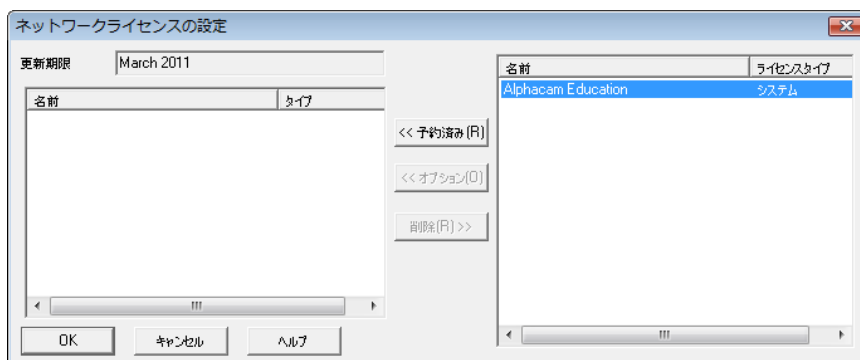
詳細はインストール DVD 内 Sentinel_RMS_Licensing¥Quick Reference Guides¥ network_SetUpLicenseServer.pdf を参照してください。

クライアント PC の環境設定

1. Client License Server(CLS)が起動しているか確認してください。起動している場合は、CLS アイコン(黄色のキー)がデスクトップ右下のシステムトレイ内に表示されます。



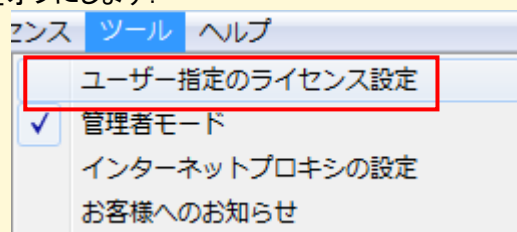
2. CLS アイコン上右クリックし、**ライセンスマネージャ** を選択してください。
3. ダイアログが開くので、**サーバーメニュー**から**ネットワークの検索** をクリックしてください。すると、Sentinal RMS サーバーの一覧が表示されます。
4. 接続したいサーバーを選択し、**アクティブなサーバーを変更** をクリックしてください。
5. アクティブなサーバーが希望通りか確認し、ダイアログを閉じてください。
6. **ネットワークライセンスの設定** ダイアログが選択したサーバーで有効なライセンスのリストを表示します。もしダイアログが表示されない場合はCLSメニューから **ネットワークライセンスの設定** オプションを選択してください。
7. クライアント PC の設定をします。ダイアログ右側にリストアップされるシステムライセンスをクリックしてください。<<**予約済み**>> をクリックしてください。左側のリストには、クライアント PC 用に選択したライセンスが表示されます。



8. 他に必要なライセンスを選択し、OK をクリックしてください。
9. Alphacam インストールがライセンス認証され、使用する準備ができました。

i これらのライセンスは”仮選択”されている状態です。サーバー上のライセンスに空きがないと、実際にソフトウェアを起動することができません。

i この設定はログインしているユーザーだけの設定です。別のユーザーでログインすると同様の設定を行う必要があります。ログインするユーザーに関係なく全ユーザーで同一の設定を指定する場合は「ユーザー指定のライセンス設定」のチェックをオフにします。



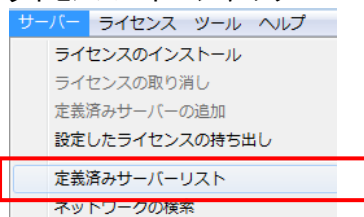
重要事項

- **Alphacam がライセンスサーバーを検出できなかった場合**、以下のいずれかの方法でライセンスサーバー名をセットしてください。

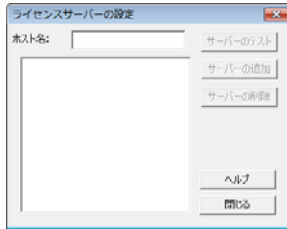
! 以下の手順は、Alphacam を使用する PC に対して行う操作です。Sentinel License Manager 起動中の PC ではありませんので、注意してください

方法 1

1. ライセンスマネージャのサーバーメニューから定義済みサーバーリストを選択してください。



2. ホスト名または IP アドレスを入力し、サーバーのテストをクリックします。成功したら、サーバーの追加をクリックします。



方法 2

1. Alphacam (License Manager ではなく) が起動されている PC の環境変数に変数 LSHOST を追加します。
2. この変数には、サーバー名または License Manager サーバーの IP アドレスを設定します。(例えば、SERVER_NAME または 192.168.0.100)

この変数の設定に関しては、貴社のシステム管理者または Alphacam 技術サポートまでお問い合わせください。

方法 3

1. LSHOST という名前の新しいテキストファイルを作成します。サンプルファイルが Alphacam インストールディスクの **Sentinel_RMS_Licensing¥Sample LSHOST File** フォルダの中に入っています。
 2. LSHOST ファイルを(例 メモ帳などで)編集し、ファイルの先頭行にライセンスマネージャサーバーの名前もしくは IP アドレス(例 SERVER_NAME または 192.168.0.100)を入力します。
 3. LSHOST ファイルを保存して閉じます。
 4. LSHOST ファイルを **C:¥Program Files¥Common Files¥VeroSoftware¥(バージョン名)¥CLS** にコピーもしくは移動します。
- どちらの方法でも、複数サーバーをご使用の場合は、各サーバーに名前を付けることができます。それぞれの名前は「:」シMBOLのセパレータで(例 SERVER_ONE:SERVER_TWO など)区切ってください。Alphacam はリスト中のライセンスサーバーを先頭から順に試します。
 - 詳しい CLS ライセンス手順に関しては、AlphacamDVD の **Sentinel_RMS_Licensing¥Quick Reference Guides** を参照してください。

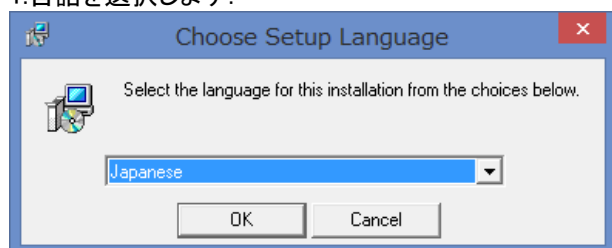
Part Modeler のインストール

Alphacam Part Modeler をご購入の場合は、Part Modeler のインストールをクリックし、ウィザードに従って操作してください。このソフトウェアはオプションです。ライセンスを購入されていない場合はご使用になれません。



ウィザード手順

1. 言語を選択します。



2. 次へをクリックする。

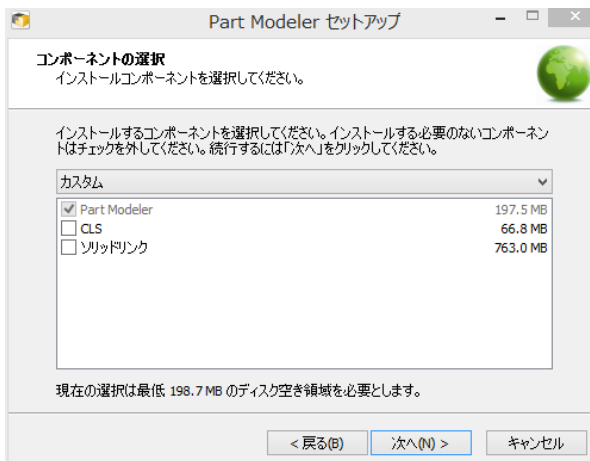
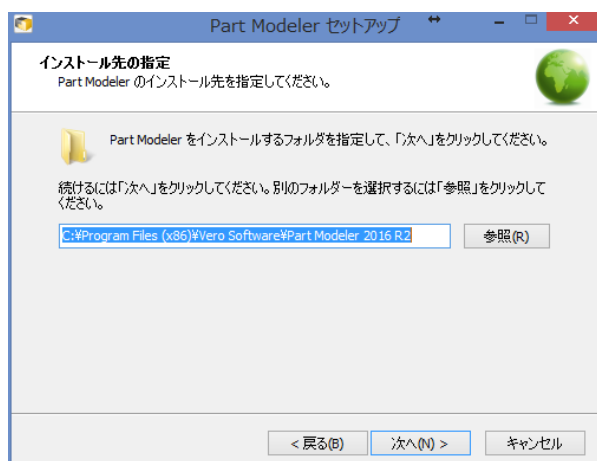


3. 許諾契約に同意後、次へをクリックする。



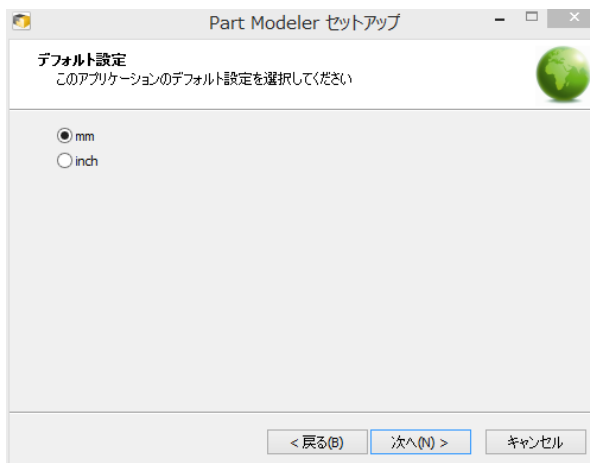
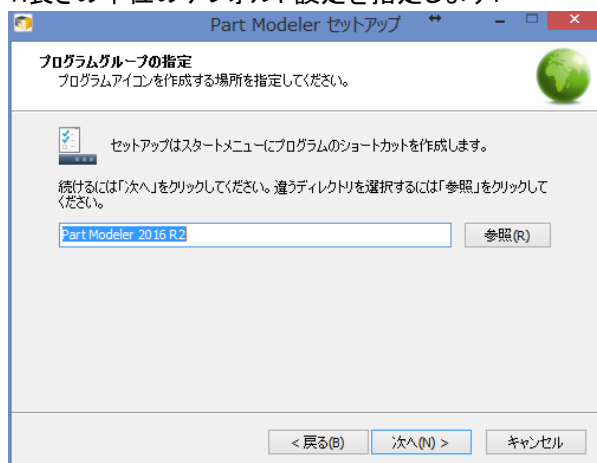
4. インストール先のフォルダを指定します。

5. コンポーネントの選択 Alphacam がインストールされている場合は CLS とソリッドリンクのチェックは不要です



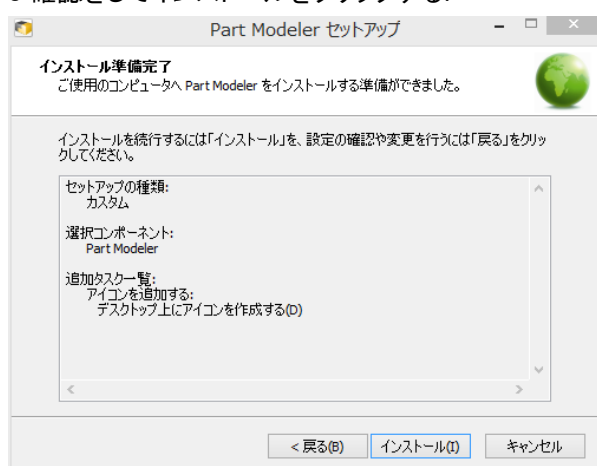
6. プログラムグループを指定します。

7. 長さの単位のデフォルト設定を指定します。



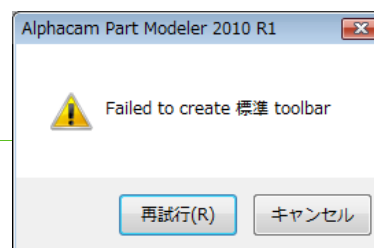
8 確認をしてインストールをクリックする。

9. 完了をクリックする



補足

Part Modeler を初めて起動する際に、エラーが発生することがあります。
エラーが発生した場合は、以下手順を実行してください。



【手順】

- ① Part Modeler を起動
- ② ツール / オプション / ユーザーインターフェイスのリセット を選択
- ③ Part Modeler を再起動

